

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** **西野さち子** です！
京都市会議員

発行：2021年4月25日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117

市会議員団アンケートへのご協力ありがとうございました

「バイトなく収入ゼロ」「家賃が払えない」「死を考える」…
悲痛な叫びとともに積極的な提案も寄せられています。

返信は2,200通超!!

返信は2200通を超えました。また、敬老乗車証制度を今のままで守ってほしいと、署名を同封していただく方も多く「敬老乗車証を守ろう」の声の大きさを実感しました。20代から40代の若い方々からの声も多く届けられ、「バイトがなくなって収入ゼロ。食べ物が無い」「昨年結婚して妻が出産予定だが、収入が激減。将来が心配。」「全員制の中学校給食を一貫校だけでなくすべての中学校でお願いしたい」また、地球温暖化対策へのご意見も多数

いただきました。他にも「タクシーでバイト。売り上げが激減し家賃が払えない。死を考える時がある」「お土産屋。1日の売り上げ600円。ストーブも使えず寒くても辛抱しています」等**深刻な現状もリアルに届けられました**。市政に対しては「財政難だから仕方がない」の一方で「コロナ便乗は許せない」「北陸新幹線問題を初めて知った。もっと知らせてほしい」「敬老乗車証で市のボランティア活動をして協力している。負担が増えればそれも無理になる」等の声に加えて、「介護保険を使わなかった人に葬儀代の支給」「無料のPCR検査を」「路上生活者に市営住宅の空き部屋の活用を」等**様々な提案も寄せられました**。

共産党に対しては「政策は素晴らしいが、もっとアピール力を」「国民が一人の人間として扱われるまともな政治を実現してほしい」「京都でも沖縄のような野党共闘を」27歳の方からは「赤旗にも共産党にも入党にも興味がある。」等々まとめきれませんが、いただいた声を生かし、くらしの目線で政策提案を続けていきます。

さあ総選挙!!政権交代でコロナ禍から暮らしといのちを守る政治を実現しよう!!

野党共闘で総選挙勝利を 街頭から訴え



4月18日は、倉林明子参議院議員・たけやま彩子比例近畿ブロック予定候補を迎えて、伏見区全域6か所でまちかど演説会が行われました。

醍醐総合庁舎前では馬場こうへい府会議員の司会で行われ、倉林参議院議員は「コロナ禍の下で菅政権は病院を減らし、高齢者の医療費を2倍にしようとしています。絶対に許せません。野党共闘を広げ、政権交代をしましょう！そのために日本共産党を大きくして下さい!」と訴えました。たけやま予定候補も訴えました。

議員日誌

ミャンマーの国民・子どもを殺すな

4月11日、市役所前で「ミャンマーの人権を守る京都緊急集会」が開かれ、100人近くの市民が集まりました。徳丸夏歌立命館大学准教授が「ミャンマーの市民は、自由に声があげられない。何もしない市民にまで銃が向けられ、遊んでいた子どものいのちが奪われている。軍隊の行為を告発するSNSが遮断され、見えにくくなってきている。日本政府はモノを言うべきではないか」とスピーチされました。穀田恵二衆議院議員は「一人ひとりの声でミャンマーの問題が国際問題・人権問題だとアピールしましょう。クーデターについて、草の根から取り組もうではありませんか」と訴えました。西野さち子市会議員も参加しました。

